

## 鴨川市教育委員会 6 月定例会会議録

1 日 時 平成 2 4 年 6 月 1 8 日 ( 月 ) 開会 午後 3 時 0 0 分  
閉会 午後 5 時 0 0 分

2 場 所 鴨川市天津小湊支所 2 階 会議室

3 出席委員 ( 1 ) 佐々木久之 ( 2 ) 根本新太郎 ( 3 ) 村上 修平  
( 4 ) 佐久間秀子

4 出席職員 ( 1 ) 蒔苗 茂 ( 2 ) 前田恵美子 ( 3 ) 黒野 雅典  
( 4 ) 原 一郎 ( 5 ) 小倉 茂

### 5 委員報告

- ・ 根本委員から、安房地区教育委員会連絡協議会総会があり、学校危機管理監の子安先生が千葉県内の学校の不祥事等に対して 2 4 時間体制で対応しているという話を聞き、ハードな勤務である子安危機管理監の健康が心配になったこと、2 6 日に天津小学校の運動会が昨年の底冷えのする天候と違い、今年はお天気もよく梅檀の花も満開でとても良かったこと、安房東中学校の体育祭は雨で延期になり、1 1 日の月曜日に行ったこと、陸上競技記録会という形で行ったこと、記録を図るため一つの種目に結構時間を要したこと、平日のために観客が少なかったこと、P T A が土曜日実施を見込んで仕込みをしていたので食材が余ってしまったことからお天気に左右される行事を持つのは大変であると感じたこと、市町村教育委員会連絡協議会では「もてなしの心」ということで話があり、学校はテーマパークという見方があるとの話を聞いたことについて報告がなされた。
- ・ 佐久間委員から、2 8 日にディズニーランドの講師がもてなしの心を話された後にディズニーの事故があったので、事故はいつ起きかわからないものだと正直思ったこと、鴨川中学校所長訪問では自分に関係する教科を中心に見てしまうが、やはり授業の導入が大事であるということを再認識したこと、緊張感を持って自分から勉強するということがいつの時代でも課題であると思ったこと、素晴らしい校舎でお互いが切磋琢磨して過ごせる幸せ、そしてそこに勤められる教師も幸せではないかとの報告がなされた。
- ・ 村上委員から、5 月 2 5 日の安房地区教育委員会連絡協議会総会、2 8 日の市町村教育委員会連絡協議会総会に出席したこと、県教育庁の危機管理監が交通事故のこと教職員の不祥事に対応していること、教員の不祥事に危機管理監をおかなければならない状況に奇異な印象を持ったこと、ディズニーランドはテーマパークであり

遊園地ではないこと、どんなに楽しいことを企画してもその前提に安心・安全があること、どんなに気をつけても事故や事件は起こること、交通事故対策や津波対策、不審者対策と学校のやるべきことがたくさんあって大変ではあるが今の時代仕方がないと思ったこと、鴨川中学校訪問では短時間で回ったため授業の内容はわからなかったが、やはり子どもがいてこそその学校であること、施設がどんなに立派でも子どもが中心であること、小湊小学校の計画訪問では、小さい学校だが子どもたちは一生懸命に学んでいること、小湊小学校の運動会では、徒競争で一生懸命に走っていること、菜の花体操では指先までしっかり伸ばして立派だったことなどについて報告がなされた。

- ・ 佐々木委員から、安房地区教育委員会連絡協議会総会では、学校における危機管理ということで講演があったこと、教職員の事故が多発していること、特に若い教職員の事故が多いこと、鴨川市としても事故防止の徹底を図っていただきたいこと、危機管理意識を持って学校で事件・事故が起きたときの対応についてシミュレーションをしておくこと、学校等で問題が起きると信頼を失うのでその防止に努めてほしいこと、市町村教育委員会連絡協議会総会では、オリエンタルランドのキャリア教育ということで「自分の役割を果たす」「チームワーク」を大切にしていること、これは学校教育についても同様なこと、当たり前なのが当たり前でできる子を育ててほしいこと、鴨川中学校の所長訪問では、実験等のある授業には積極的に参加していたが、じっくりと話を聞くような授業では消極的な姿が見られたこと、一人で調べるような学習は苦手なように見えたことなどについて報告がなされた。

## 6 教育次長報告

- ・ 蒔苗教育次長から、5月25日に本多前市長の名誉市民推戴式があったこと、役職を離れてもなお演説が感動に値するものであったこと、5月26日に江見小、西条小、天津小、小湊小の運動会があり、どの学校の運動会も地域と学校と保護者が規模や特色に応じて一体となって取り組んでいて素晴らしかったこと、30日に鴨川市通学路安全対策検討会議を開催したこと、通学路の安全対策については教育委員会だけで進められることが少ないこと、鴨川警察署や安房土木事務所、交通安全協会等の関係機関が集まって対策を検討することが重要なこと、継続して会議を設けていくこと、この検討会議の取り組みを徹底させるために31日に臨時の校長会議を持ったこと、31日に学校適正規模検討委員会を設け天津保育園の移転を最優先課題として進めていること、天津保育園を天津幼稚園へ、天津幼稚園を天津小学校へという案でまとまりそうであること、天津小湊地区と江見地区の学校適正配置や幼保一元化については保護者地域の声を聞きながら進めていくこと、鴨川中学校の所長訪問では全学級の子どもがしっかりと授業に向かっていたこと、旧吉尾小裏山

の草刈を長狭灘子保存会と一緒にいったこと、初体験の市議会があったこと、通学路の安全対策と防災・節電教育について一般質問があったこと、安房東中学校の体育祭では子どもたちのすばらしい演技を見られたこと、人数が減少している中にも頑張っている子どもの姿があったこと、6月13日に鴨川市小学校体操発表会があったこと、優秀選手に男女に偏りがあったこと、天津小湊土曜スクール開校式が6月16日にあったこと、ボランティアの数が多かったこと、6月17日の古泉千櫨追慕短歌大会では佐久間委員が入賞したことなどについて報告がなされた。

#### 【報告に対する質疑】

- ・ 質疑がなく、全員の了承が得られた。

## 7 議 事

### (1) 議案第1号 「平成23年度鴨川市立教育委員会点検と評価について」

- ・ 前田学校教育課長から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条において、平成20年度よりすべての「教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と義務付けられていること、これに基づいて鴨川市教育委員会としても点検と評価を実施すること、今回各教育委員から意見をいただき加除修正し、学校評議員や社会教育委員、学校給食運営委員、スポーツ振興審議会、市P連代表の方から意見を聴取すること、7月の定例教育委員会会議で再度教育委員の皆さんに吟味していただくこと、8月の定例教育委員会では9月の市議会定例会への提出案件についての承認をいただくこと、その後ホームページで住民に公表していくことなどの説明がなされた。
- ・ 根本教育委員から、開きづらいので目次をつけてほしいとの意見出された。
- ・ 佐久間委員から、進め方について、頁ごとか項目ごとかに分けた方が能率がよいとの意見が出された。
- ・ 根本委員から、基本方針は毎年変わるものかとの質問があり、蒔苗教育次長から5カ年計画に基づいて示しており5年間は変わらないとの説明がなされた。
- ・ 村上委員から、「学んでよかった、住んでよかったと実感できる教育環境の創出」の教育環境は鴨川市の間違えではないかとの指摘があり、調べた結果、原案通り、教育環境で間違いなこととの確認がなされた。幼児教育の充実では、東条幼稚園は幼保一元化の需要があると聞いていること、土地がないので幼保一元化は東条幼稚園は無理なのではないかと思うことについて質問があり、蒔苗教育次長より、現在東条保育

園が定員オーバーであることから来年度は5歳児のみ東条幼稚園で預かり保育を実施する予定であること、4歳児は施設の確保ができないため当面無理であるとの見解が示された。

- ・ 佐久間委員から、幼児教育の充実のところで良かったことの具体的例を挙げてほしい、小中一貫教育の推進のところにある8項目について誰にでもわかるように明記してほしいとの要望がなされた。体力向上については、中学校のけが防止の対策について非常に取組をしていると感心しているとの意見が出された。
- ・ 根本委員から、鴨川市教育政策研究会というのとは何かとの質問があり、蒔苗教育次長より、鴨川市の教育を進めていく上でシンクタンクの役割があり、小中一貫教育を進めていく上で欠くことのできない組織であること、校長や教頭のほかに一般教員で構成され、全学校から漏れなく委員が出るような配慮がなされていることとの説明がなされた。根本委員から、ソフト面が中心かとの質問あり、蒔苗教育次長より、小中の滑らかな接続を図るために年間指導計画を共同で作成したり、指導の重点をビジュアル版で作ったりしていること、正にソフト面の充実を中心に検討している委員会であるとの説明がなされた。
- ・ 佐々木委員ら、電子黒板の利用についてどのようになったのか、以前、電子黒板を効果的に使っていなかった授業を見受けられたとの質問があり、蒔苗教育次長より、専門会を招いて各学校で研修を重ねていること、学校に1台であるために各担任の使い勝手が悪いこと、電子黒板の利点を生かした授業のあり方を引き続き検討していくことについて説明がなされた。同じく佐々木委員から、安全教育の推進について防災対策については記載されているが、交通安全についても対策を明記したほうがよいのではとの意見が出された。
- ・ 佐久間委員から、P11に旧江見中学校校舎が遊休施設となっていること、昨年度も同様な記載になっていることについての質問があり、蒔苗教育次長より、現在のところこの表記で間違いがないこととの説明がなされた。
- ・ 佐々木委員から、公民館の開館時間が利用者のニーズにあっていないとの声があること、公民館の耐震化についての予定について質問があり、黒野生涯学習課長より、公民館の開館時間について条例上は9時から21時、運用上は9時から16時、7時から21時となっており、条例どおりの運用にはなっていないことは事実であること、運用上の開館については公民館の職員体制が大きくかかわっており、9時から21時までを開館するには現在無理があること、改善策については人件費の確保が課題となっているとの説明がなされた。耐震化については、これまでやってこな

かったが昨年の東日本大震災を契機に耐震化を図っていくことになっていること、中央公民館については今年度耐震診断を行っていくこととの説明がなされた。

- ・ 佐久間委員から、事業が遊びにならないように企画することが必要、との記載があるが、どのようなことなのかとの質問があり、同様に根本委員から、サークルがカルチャー化している、とはどういうことかとの質問があり、黒野生涯学習課長より、事業が遊びにならないように、サークルがカルチャー化しているなど、誤解を招くような表記は修正するとの回答がなされた。
  - ・ 佐々木委員から、図書利用が2.5%増えたとのことだが他市町村や県と比較して増えたということなのかとの質問があり、黒野生涯学習課長より、あくまでも鴨川市立図書館の昨年度比であり、他市と比較する場合は蔵書数や人口が同じでないと単純に比較できないとの説明がなされた。
  - ・ 佐久間委員から、公民館に図書館の分室を作ったことはとてもよかったとの感想が述べられた。
  - ・ 佐久間委員から、施設の老朽化とあるが、具体的に施設箇所を入れたほうがわかりやすいとの意見が出された。
  - ・ 佐々木委員から、会員数が伸び悩んでいるとあるが種目によっては伸びているものもあるのではとの質問があり、原スポーツ振興課長より、確かに種目によっては人数が増えているものがあること、特にサッカーの参加人数は増加していることとの説明がなされた。
  - ・ 村上委員から、民間委託の見通しについて質問があり、小倉学校給食センター所長より、いろいろ課題はあるが平成26年度には実施する見込みであるが、現在の職員の配置を考えていかないと難しいとの説明がなされた。
  - ・ 佐久間委員から、生産者を招いての給食や高齢者を招いての給食は考えられないかとの質問があり、小倉学校給食センター所長より、現在のところ学校の子どもたちへの給食が使命であるので対応は考えていないとの説明がなされた。
  - ・ 根本委員から、調理員の配置については人事に関することなので、点検と評価の項目にはなじまないのではとの質問があり、小倉学校給食センター所長より、広く考えれば市全体の人事のことではあるが、学校給食センターとしても大きな課題であるので記載させていただいたとの説明がなされた。
- ・ 議案第1号については、その他に質疑なく全会一致で承認された。

## 8 その他

- (1) 各課長から、「7月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 蒔苗教育次長から、「平成24年度教育委員研修会」について、資料をもとに説明がなされた。
- (3) 蒔苗教育次長から、「津波避難訓練」について、資料をもとに説明がなされた。

佐々木委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成24年7月20日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔苗 茂